



患者 ID : _____

施設名 : _____

実施医名 : _____

手術予定日 : _____ / _____ / _____

性別 : 男 女 年齢 : _____

記入日 : _____ / _____ / _____

動脈瘤のタイプ : 紡錘状 嚢状

位置	測定値	CTテーブルポジション
	デバイスを選択するために使用する値を一覧表に記入	CTフレーム番号または血管造影画像を明記

Shema

径

	A 中枢側留置位置	mm	
	B Aより1 cm末梢位置	mm	
	C Aより2 cm末梢位置	mm	
	D 動脈瘤最大径	mm	
	E Gより2 cm中枢位置	mm	
	F Gより1 cm中枢位置	mm	
	G 末梢側留置位置	mm	
	H 右総腸骨動脈径	mm	
	I 左総腸骨動脈径	mm	
	J 右外腸骨動脈径/大腿動脈径	mm	
	K 左外腸骨動脈径/大腿動脈径	mm	

長さ

L ¹ 中枢ネック長 : 動脈瘤から左鎖骨下動脈までの距離	cm	
L ² 中枢ネック長 : 動脈瘤から左総頸動脈までの距離	cm	
M 動脈瘤の長さ	cm	
N 末梢ネック長 : 動脈瘤から腹腔動脈起始部までの距離	cm	
O 治療長	cm	

角度

P 中枢側の角度	°	
Q 末梢側の角度 (必要な場合)	°	
中枢側ネックに顕著な血栓・石灰化が見られる	はい	いいえ
末梢側ネックに顕著な血栓・石灰化が見られる	はい	いいえ
治療長が10 cmあるいはそれ以下である	はい	いいえ
「はい」の場合、デバイスが留置される両方のネック径は、一つのデバイスでの治療の許容範囲内である	はい	いいえ
左鎖骨下動脈を閉鎖させる予定である	はい	いいえ
「はい」の場合、臨床的にトランスポジションまたはバイパスが必要である	はい	いいえ
角度は60度以下である	はい	いいえ
「はい」の場合、ネック長は2 cm以上十分に確保可能である	はい	いいえ

推奨するCアームの角度 :

LAO	RAO	°
Cranial	Caudal	°

Notes

